

営農情報（小麦）

第51号 令和4年12月13日
福岡大城農業協同組合
南筑後・久留米普及指導センター

小麦の播種は11月17日頃から順調に行われています。今後は、排水対策及び雑草対策を徹底するとともに、倒伏しない麦作りのため、麦踏み・土入れを励行しましょう。

1 施肥基準（追肥）

緩効性肥料による追肥は、施用時期が極端に遅れると倒伏につながる恐れがあるので、遅播き（12月中下旬播き）のほ場においても施用時期を守りましょう。

品 種 名	追肥施用量 (施用時期)	穂揃期追肥 (施用時期)
シロガネコムギ	麦追肥一発2号 40kg (1月中～下旬)	—
ちくしW2号	硬質小麦専用追肥3004 30kg (1月下旬～2月上旬)	尿素4kg×2回※ (赤かび防除同時)

※ちくしW2号はタンパク質含有率を高めるため、穂揃期追肥を確実に行いましょう。
※穂揃期追肥は、10a当たり尿素4kgを、水100ℓに溶かして散布します。

2 麦踏み、土入れ

●麦踏み

麦踏みは、麦の分げつ促進と倒伏防止の効果があります。麦3葉期から2月下旬頃の節間伸長開始期までに3～4回程度実施します。土壌が湿っているときに行うと、土壌を締めつけ生育を抑制することがあるため、土壌が十分乾燥した状態で行います。特に早播きしたほ場では、倒伏や凍霜害が発生しやすいため、麦踏みを徹底します。

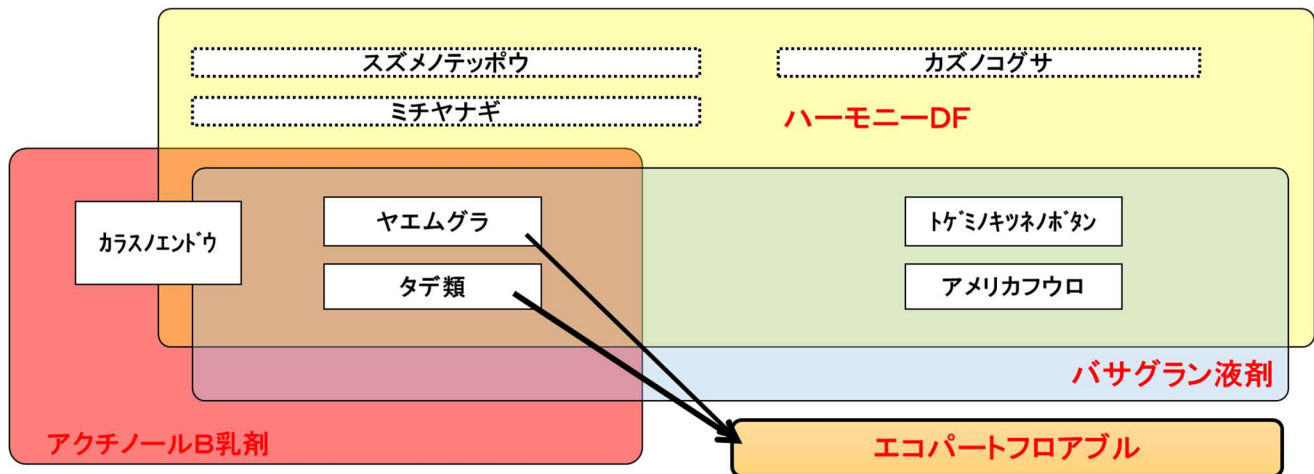
●土入れ

土入れは、無効分げつや雑草の抑制及び排水対策などの効果があります。1月上旬頃から3月上旬にかけて2～3回程度実施します。また、追肥後に行うと肥効が安定します。土塊が大きくなるように、麦踏みと同様に土壌が乾燥した状態で行います。なお、土入れは麦の生育に応じて土の量を増やし、麦踏み前に実施します。麦踏み直後は避け、麦が土に埋もれないようにします。

3 雑草防除

発生した雑草に応じて、茎葉処理除草剤を選択します。

薬剤名	対象雑草	使用時期	10a使用量	備考
ハーモニー細粒剤F	一年生 広葉雑草	播種後～麦3葉期まで (雑草発生前～発生始期)	4～5kg	・ハーモニー細粒剤FとハーモニーDFはいずれか1回しか使用できない
ハーモニーDF	一年生 広葉雑草	播種後～節間伸長前	5～10g (水100L)	・ タデ類 に効果が高い ・ <u>カラスノエンドウ</u> 6葉期まで効果あり ・スズメノテッポウ、ヤエムグラ、カズノグサ、ミチヤナギは10g/10aを目安
		節間伸長開始期～ 穂ばらみ期まで (収穫45日前まで) (※大麦は節間伸長前までしか使えません)	3～10g (水100L)	
アクチノールB乳剤 ※R5は生産中止	一年生 広葉雑草	穂ばらみ期まで (雑草生育初期)	100～200ml (水100L)	・ <u>カラスノエンドウ</u> に効果が高い ・高温時は薬害を生じやすいため注意する ・ キノコウゲ 類への効果劣る
エコパートフロアブル	一年生 広葉雑草	節間伸長開始期まで	50～100ml (水100L)	・ <u>ヤエムグラ</u> に効果高い ・ <u>カラスノエンドウ</u> への効果は低い ・薬害(軽微な白斑等)が生じることがある
バサグラン液剤	一年生 広葉雑草	生育期 (雑草の3～6葉期) (小麦：収穫45日前まで) (大麦：収穫90日前まで)	100～200ml (水100L)	・ キノコウゲ 類に効果が高い ・高温、晴天時に効果が高い ・ <u>カラスノエンドウ</u> 3葉期まで効果あり



- 雑草が大きくなる前に対策を！
- 農薬の散布にあたっては、近隣にある他作物、住居などに注意しましょう。

～「慣れ」と「油断」が事故を招きます～

”安全”な農作業と農薬使用を徹底しましょう！